

# Digital Camera 倶楽部

SPT 2018  
Vol.153

## 被写体ブレ

そのものズバリ、シャッターが開いている間に被写体の方が動いてブレた写真になることです。

江戸時代から明治時代にかけて、外国からカメラが入って来ました。多くの有名人の写真が現存していますね。

当時の機材は現代のものとは比べると大変扱いが難しく、大変苦勞をされたようです。レンズの性能は低く明るさもかなり低いようでした。

何よりも問題はフィルムの方です。当時はガラスの板に臭化カリウムと硝酸銀の溶液をゼラチンと混ぜて塗付したものでした。感度が大変低いためにシャッター速度はかなり長かったと言われていています。(15秒くらいとの説あり)

そのために人物を撮影する時には姿勢を維持するための道具を作り、背中や首を支えて体が動かない様にしたそうです。

この様に動いてはいけないのに、動いて出来た失敗作を被写体ブレと言っていますが、現在ではわざとブレることを考えて撮影する方が多いのでしょうか。

例えば 犬や猫が走ったり、ジャンプしたりしている所を、シャッター速度を高速にして飛んでいる一瞬を物にするのも素敵ですが、シャッター速度を少し遅くして、ブレと云うより流レとでも云いましょうか、躍動感を感じさせるような撮影も良いと思います。最近のカメラやスマホには動画の機能があつて、映画の一シーンの様にとれますが、我々は静止画(still)での作品を追い求めているので、一枚の静止画から色々な動き、感情などを引き出せるように努力したいと思います。

手振れの場合  
対策としては

手や体の振動が原因でカメラブレが生じます  
カメラが揺れない構え型 三脚による固定  
セルフタイマーやリリースによる撮影

被写体ブレの場合

被写体の早すぎる動き  
シャッタースピードを速く設定  
一連の動きとして捉え動感をひきだす



2007年ふるさと村にて 国際交流の長距離走 流し撮り



2008年 北京にて 京劇 孫悟空 劇場内なので高感度撮影

別府 30 - 08月ページ



# 白岩のページ



薬師池公園の蓮の花

分離帯の一場面



夏休みの河川敷



雄弁・愛嬌・貴方を信じる

(花言葉)

百日紅

さるすべり

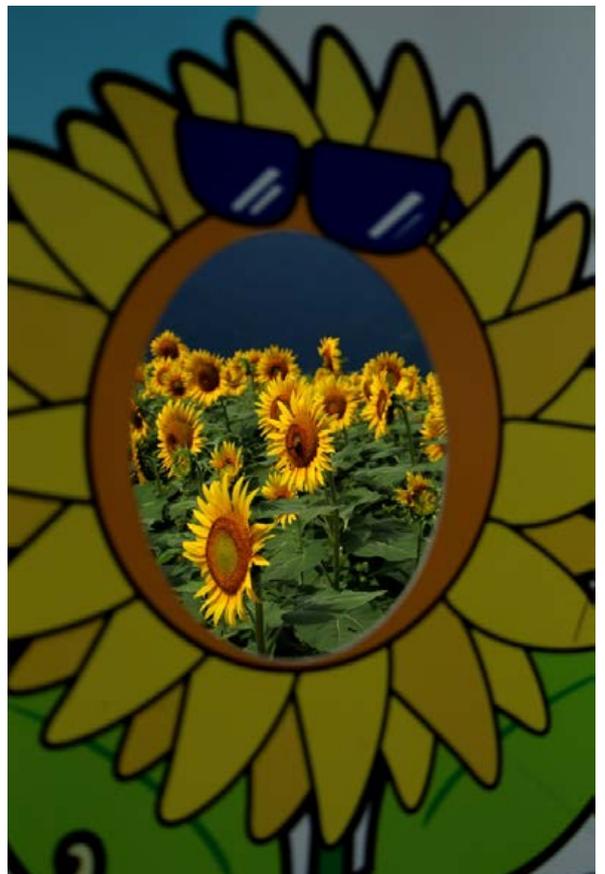
ごぶし  
一瞬ギョツとしました



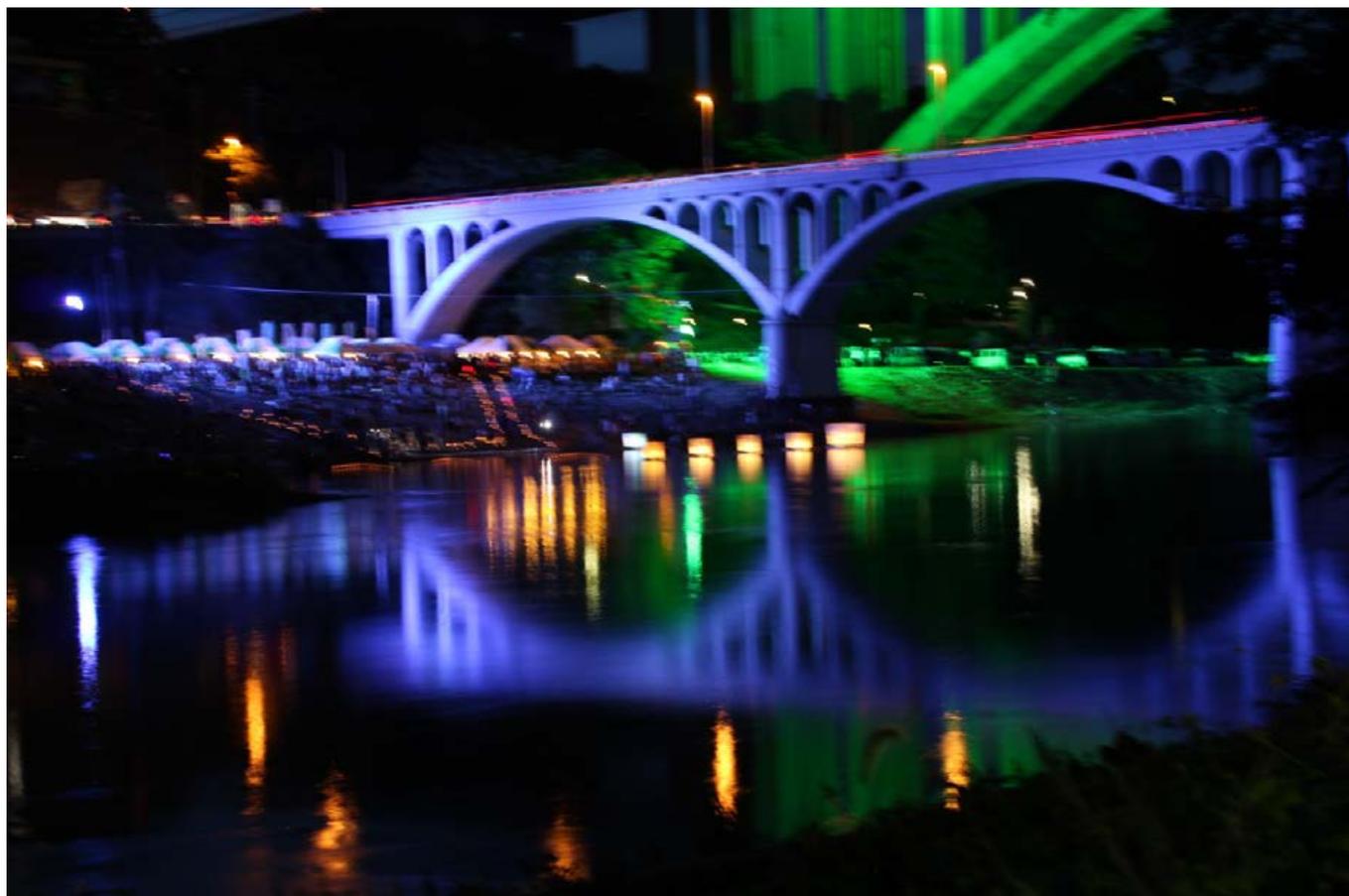
川面に  
引き込まれそうな釣り竿の先

# 大川のページ

明野のひまわり畑



小倉橋の灯籠流し



勤労祭野外  
フェスティバル



# 笹原虎夫のページ

## 小倉橋近傍



新旧並んで



中州田圃のアオサギ



こう暑くては  
熱中症に  
なっちゃう

## 朝の田園風景



宝石に勝る輝き

露草



蓮と蜜蜂



鈴木義則 のページ

## 撮影方法を変えて

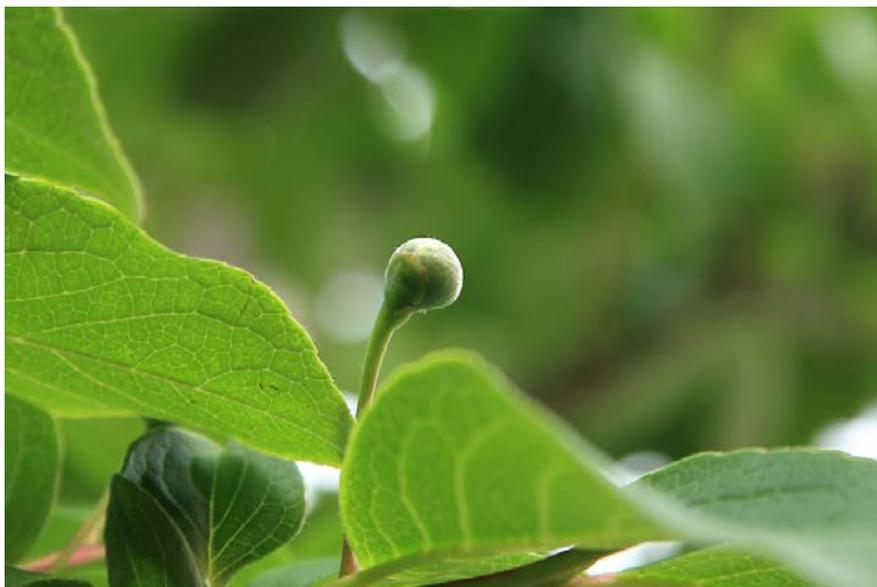
ボケを無くして奥行きを強調してみました



奥にボケを配し、写真を撮っている人を強調してみました

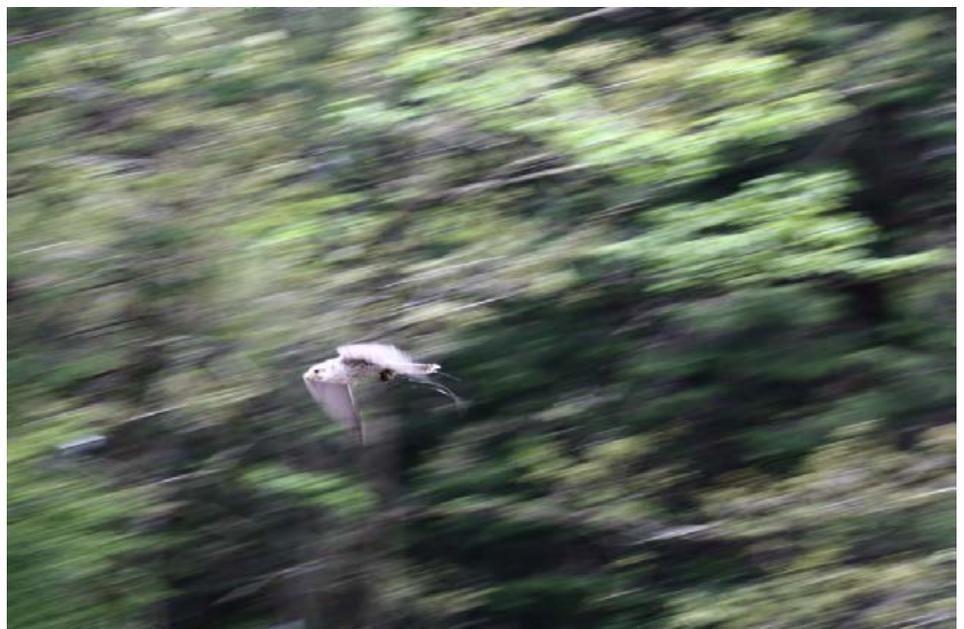


下に咲くシロツメ  
クサをぼかし、ポピ  
ーに立体感を与え  
ました



前後にぼけを作ることで  
沙羅のつぼみのかわいら  
しさを強調してみました

鷹を流し撮りすること  
で背景を大きくぼかし、  
飛翔力を強調しました



鈴木瑠美子 のページ

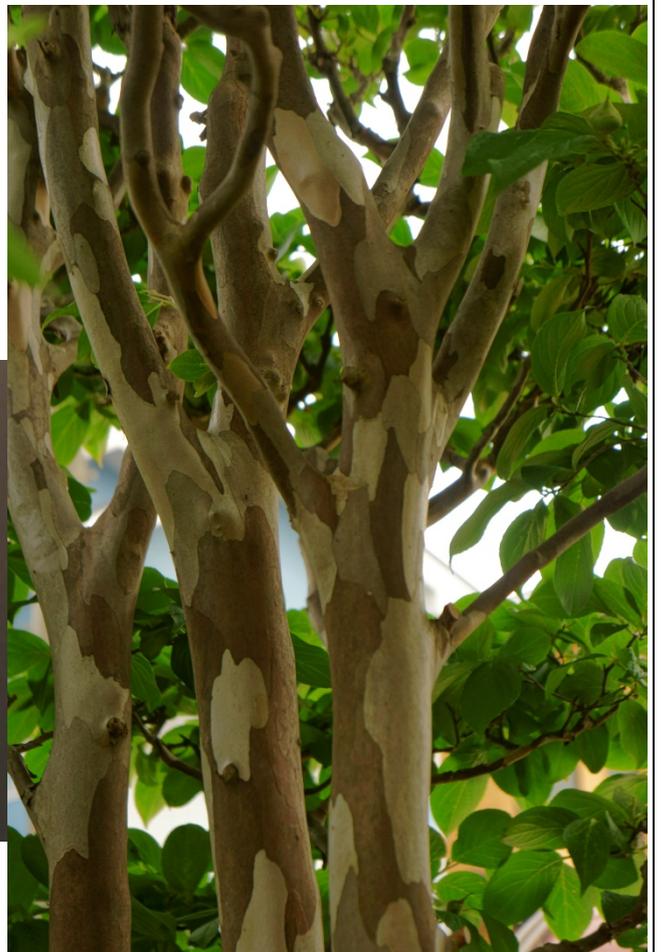
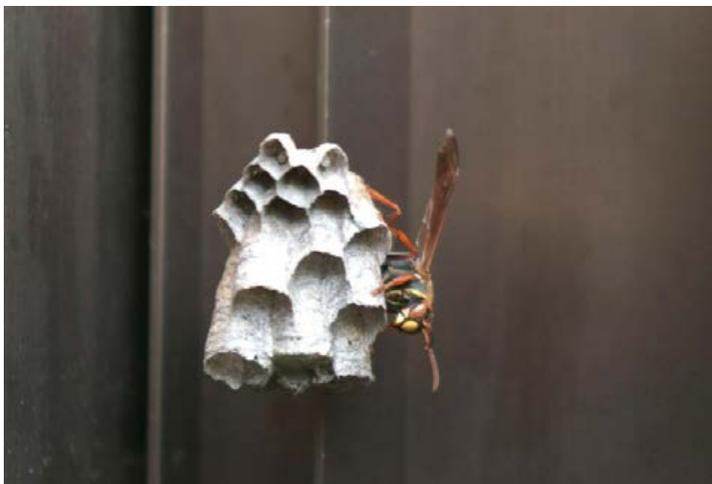
## 暑い夏を写す

猛暑日が続く今年、暑さを告げる朝の雲がうらやま



緑の葉と木肌が僅かながらの清涼感を醸し出す

嫌われ者の蜂、窓枠に巣を作り始めたが、暑さでギブアップをした



春日台の盆踊り大会、  
未だ踊りが揃わない  
子供がかわいい



小学生低学年児か  
な、踊りが揃いつ  
つある

小学生の高学年児か  
な、踊りがダンス風  
になってきた



# 佐藤重信の ページ

相模原の青山神社では毎年 8/13 に「お<sup>はま</sup>お<sup>お</sup>降り」が行われている。串川をせき止め、男女が神輿を担ぐ



8/11 清川村の伝統行事の「青龍祭」 長さ 20mの雄龍と雌龍は村を練り歩き、最後に火をつけて昇天した。



吉川のページ

横浜 野毛大道芸

2018年4月



とても人間技とは思えません

顔面がクルクル変わる一瞬

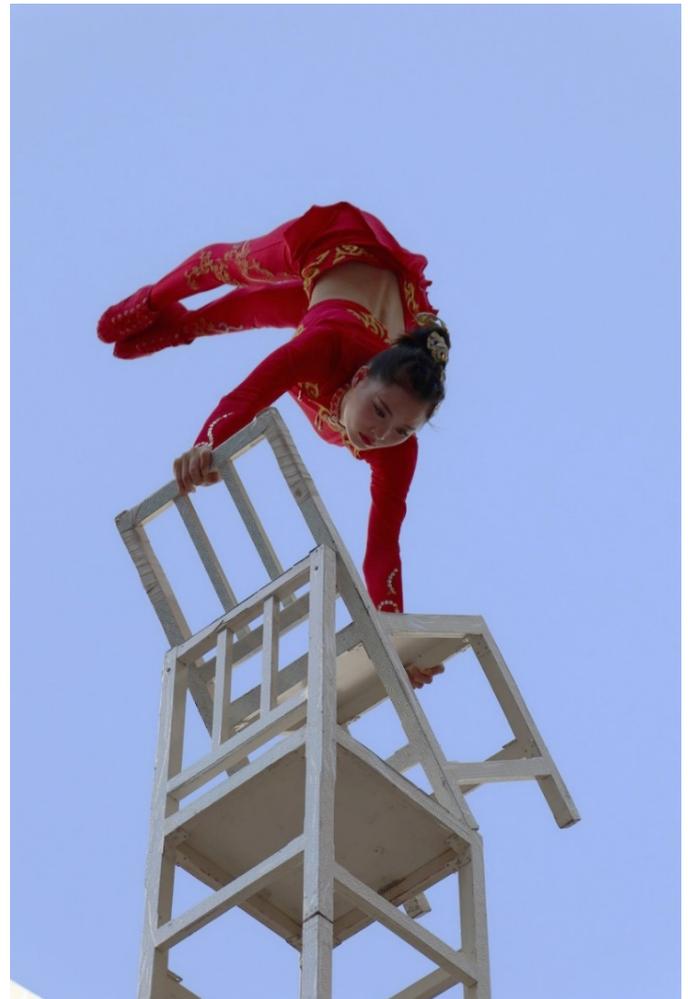


ホームレスではありません  
立派な女神です  
暑いのにご苦労様





椅子を一つずつ積み重ねた  
てっぺんでの演技  
凄い の一言



シャフトを一本ずつ継ぎ足し  
頂上での演技  
見ている方がヒヤヒヤ

